

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	15-6																																
PDCA	主要事業名	自立支援医療等給付事業	部課名	福祉部地域福祉課	担当	川口																																	
					内線	350																																	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 3 - 1 - 3 単位施策： 障がい者福祉 全体事業期間： 令和 3 年度 ～ 3 年度 全体事業費等： 104,526 千円 会計 一般会計 歳出科目： 03.01.01.08.52 3か年実施計画（当該年度事業費等）： — 千円																																						
	事業概要等	事業概要： 自立支援医療制度（更生医療・育成医療・療養介護医療等）の実施にあたり、心身の障がいを除去・軽減するための医療について、必要な医療費の給付を行う。																																					
		事業目的： 自立支援医療を必要とする障がい者・児の医療費の自己負担額を軽減することを目的とする。																																					
		事業内容： 障がいの回復・軽減を目的とした医療について、障害者総合支援法に定める自立支援医療（更生医療・育成医療・療養介護医療）を支給する。																																					
		問題点・ 更生医療や精神通院医療の受給者は、増加傾向にあり、今後も課題等： の傾向が続いていくと見込まれる。																																					
	予算額	主要事業とする理由																																					
	104,526 千円	心身の障がいを除去・軽減するための医療費を補助することで、地域で安心した生活を送ってもらうため。																																					
	財源内訳	得られる成果																																					
	市費	定期的に通院が必要となる疾病や手術等を必要とする方に医療費を補助することで、安心して日常生活を送ることができる。																																					
	26,165 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値や目指すべき状態</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">必要としている方が過不足なく受給している状態</td> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						目標値や目指すべき状態	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位	必要としている方が過不足なく受給している状態	実績値	—	—	—	目標値	—	—	—		実績値				目標値					実績値				目標値			
	目標値や目指すべき状態	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位																																		
	必要としている方が過不足なく受給している状態	実績値	—	—	—																																		
		目標値	—	—	—																																		
		実績値																																					
		目標値																																					
	実績値																																						
	目標値																																						
国費																																							
52,241 千円																																							
県費																																							
26,120 千円																																							
その他																																							
0 千円																																							
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果																																					
	106,164 千円	定期的に通院が必要となる疾病や手術等を必要とする方に医療費を補助することで、安心して日常生活を送るための支援ができた。																																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">必要としている方が過不足なく受給している状態</td> <td>実績値</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						成果指標	令和3年度	単位	必要としている方が過不足なく受給している状態	実績値	—	目標値	—																								
	成果指標	令和3年度	単位																																				
	必要としている方が過不足なく受給している状態	実績値	—																																				
		目標値	—																																				
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 定期的に通院が必要となる疾病や手術等を必要とする方に医療費の給付を行うことができた。 更生医療の受給者は、今後も増加傾向が続くと見込まれるため、引き続き必要な方に医療費の給付が行われるよう事業の周知を図る。																																					
A 課題の解決の方向性	今後の事業の方向性	現状維持 今後も、定期的に通院が必要となる疾病や手術等を必要とする方が安心して日常生活を送ることができるよう、医療費の自己負担額を軽減することが必要である。																																					
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																	
		①市の関与の妥当性 法定事務	④上位施策への貢献	小さい	⑦コスト削減余地	ない																																	
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない																																	
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無	ない																																				

目標項目（予算計上時に作成）

評価項目（決算時に作成）
 主要施策の成果報告書で活用